令和5年度あいちラーニング推進事業研究報告書【重点校】

学校番号 26

 学校名
 愛知県立
 瀬戸工科
 高等学校

 校長氏名
 小川
 義雄

| 研究責任者職・氏名 | 教頭・渡部 一喜 | |
|---|--|--------------------------------------|
| 研究 テーマ | 「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善 | |
| 本年度の 研究目標 | (1)生徒が主体的かつ対話的に学習する授業の推進 (2)教科や学科を超えた協働研究体制の推進と、成果の |)共有 |
| | 研究の実施内容 | |
| 実施月日 | 内 容 | 備 考 (対象生徒等) |
| ~9日 6月8日 6月27日 7月7日 7月12日 8月28日 9月前半 9月29日 11月24日 1月5日 1月5日 | 校内公開授業週間 あいちラーニング推進委員決定 第1回尾東地区連絡協議会(春日井南高校) 第1回あいちラーニング推進委員会 県教育委員会学校訪問 第2回あいちラーニング推進委員会 ICT使用に関する授業アンケート 第3回あいちラーニング推進委員会 第4回あいちラーニング推進委員会 第2回尾東地区連絡協議会 課題研究発表会の公開(愛窯ウィーク) 第5回あいちラーニング推進委員会 | 全 全教推担推全推推教3推員 員主委教委員委委主生委任員員員 員員任 員 |
| | | |

研究成果の評価及び普及・還元に関する実績

- ・各学科の代表から構成された推進委員での委員会においては活発な議論がなされ、本年度の研究 目標に対する様々な意見交換が行われた。この内容を各学年や学科に持ち帰ることで、多くの教 員が少しずつ目標に向かって進むきっかけとなった。
- ・ICTの活用については、教員へのアンケートから、多くの教員が積極的に活用しようとしていることと、教科の特性により活用の度合いが異なるため画一的な推進は難しいことを確認することができた。
- ・特に「主体的・対話的で深い学び」を進めるにあたっては、生徒の基礎的な学力と知的好奇心を 高めていくことの重要性を認識することができた。
- ・本年度の推進委員は今回得た知見を教科・学科・学年の職員に広げていくとともに、来年度は推進委員会からの発信を増やし、少しずつ教員全体の意識を高め、さらなる授業改善を進めていきたい。